

運動会伝統演目

みんなで あそぼう

大浜小学校には、運動会で昭和27年頃からプログラムに取り入れられている演目『みんなで遊ぼう』があります。

発案者は第15代校長の識名信升先生で「子ども達がみんなであそべるものをやってみないか」の一声で、当時の女性教諭達が内容や振付を考え運動会の演目として取り入れられたそうです。地域の手遊び唄や、本土の手遊び唄10種類の遊びで構成され、誰でも楽しく参加できる大浜小学校ならではの演目となっています。

いつまでも、地域や家族を繋ぐ演目であって欲しいと思います。今年も分会別で行います。ぜひご参加ください。

入場

かくれんぼするものよつといで
あそぼうよ あそぼうよ

一 じゃんけん

じゃんけんぽんよ あいこでしよ
あらあらだめよ もういちど

二 かごめ

かごめ かごめ
かごの中の鳥は いついつまで
夜明けの晩に 鶴と亀がすべった
うしろの正面 だくれ

三 ぼうさん ぼうさん

ぼうさん ぼうさん どっこい
わたしは 田んぼへ 稲かりに
わたしも一緒に連れしやんせ
あなただけいたら じやまになる
かんかんぼうず かんぼうず
かんかんぼうず かんぼうず

四 てんぼ てんぼ

てんぼ てんぼ ぼうまぼうま
さんぬかーず いんがや
まーずるけぬ とらんがしや
ていんすけ ていんすけ
やあむとら とらんか
いっぽ かっぽ
かまみや しゅうぬ こうふつちや

五 かぞえうた

一つ ひよこがまんま食べて
二つ 船には船頭さんが
三つ 店屋の番頭さんが
四つ 横浜べっぴんさんが
五つ 医者屋の薬びんが
六つ 昔はちよんまけ結って
七つ 泣き虫八ちにササれて
八つ 山にはコンコンきつねが
九つ こじきがおわん持って
十は 殿さまお馬に乗って
十一 巡直が剣を持って
十二 兄さん新聞読んで
十三 産婆が赤ちゃん抱いて
十四 新年おめでと
十五 ごんべんが豆をまいて
十六 ろくろく巻いて チョン

六 茶摘み

夏も近づく 八十八夜
野にも山にも 若葉が茂る
あれに見えるは茶摘みじやないか
あかねだすきに すげの笠

七 通りやんせ

通りやんせ 通りやんせ
ここはこの細道じや
天神様の細道じや
ちよっと通してくださいせ
び用のないもの通しやせぬ
この子の七つのお祝いに
お札を納めに参ります
行きはよいよい帰りは怖い
怖いながらも
通りやんせ 通りやんせ

八 花いちもんめ

ふるさととめて花いちもんめ
太郎さんがもらいたい花いちもんめ
花子さんがもらいたい花いちもんめ
勝つてうれしい花いちもんめ
負けてうれしい花いちもんめ

九 大だか小だか

大だか小だか 回れよ回れ
天のお庭は広いな
私も天まで飛びたいな
私も天まで飛びたいな
私も天まで飛びたいな
飛びたいな

十 月ぬかいしや

四から上りおる ばが月ぬ夜
ばがやぬ ついづいまで
ていらしより

* ホーイチョウガ

東から上りおる大月ぬ夜

うきなん やいまん

ていらしより *

月ぬかいしや 十日三日

みやらび かいしや

ていらしより *

退場

さよならよ さよならよ
もう日がくれるよ さよならよ
あそぼうよ あそぼうよ
まだまだ明るい あそぼうよ
さよならよ さよならよ
母さん待ってる さよならよ
さよならよ さよならよ
じゃあまたあしたね さよならよ

